

「考える力を育てる問題」申込用紙

下の申込み用紙に必要事項をご記入のうえ、問題文と一緒にメールか郵送で送ってください。

締切：平成28年12月9日(金)

申込日： 11月28日

ふりがな 氏名	たはら みつひろ 田原 充浩		
所属 (学校)	妙高市立妙高高原南小学校		
学年	3～6年	教科 (○で囲む)	国語，算数，理科
単元名	2けたのかけ算，ならべかたや組み合わせ方 など		
問題の見所	<ul style="list-style-type: none">・6年生の組み合わせ方の学習や，3年生の2けたのかけ算などで活用できると考えた。・「乗数が1増えると答えが被乗数分増える」，「交換法則を使えば，計算の手間が省ける」といった，乗法のきまりを活用できる。・$10 \times 15 = 150$を皮切りに考えるなど，およその見積もりを立てる力を付けることができる。		
出典 (必要な場合のみ)			

「考える力を育てる問題」

妙高市立妙高高原南小学校

教諭 田原 充浩

Q. 答えが150以下になる、(2けた) \times (2けた)の式は、いくつあるでしょうか。

- ・ 10×15 が150になることをきっかけに、考えをスタートできる。
- ・ 2けたの整数の中で、一番小さい数は10であることを考えると、被乗数と乗数に当てはまる数は、10～15の範囲であることが分かる。

【被乗数が10の場合】

$$\begin{array}{lll} 10 \times 10 = 100 & 10 \times 11 = 110 & 10 \times 12 = 120 \\ 10 \times 13 = 130 & 10 \times 14 = 140 & 10 \times 15 = 150 \end{array}$$

【被乗数が11の場合】

$$\begin{array}{lll} 11 \times 10 = 110 & 11 \times 11 = 121 & 11 \times 12 = 132 \\ 11 \times 13 = 143 & & \end{array}$$

【被乗数が12の場合】

$$\begin{array}{lll} 12 \times 10 = 120 & 12 \times 11 = 132 & 12 \times 12 = 144 \end{array}$$

【被乗数が13の場合】

$$\begin{array}{ll} 13 \times 10 = 130 & 13 \times 11 = 143 \end{array}$$

【被乗数が14の場合】

$$14 \times 10 = 140$$

【被乗数が15の場合】

$$15 \times 10 = 150$$

答え17こ

【この問題を制作した意図】

- ・ 6年生の組み合わせ方の学習や、3年生の2けたのかけ算などで活用できると考えた。
- ・ 「乗数が1増えると答えが被乗数分増える」、「交換法則を使えば、計算の手間が省ける」といった、乗法のきまりを活用できる。
- ・ $10 \times 15 = 150$ を皮切りに考えるなど、およその見積もりを立てる力を付けることができる。